

— 魚病 —

後藤悦郎

目的及び方法

県外の内水面における魚病被害を軽減するため、巡回による養魚・魚病指導を行った。魚病発生時には病魚の検査を行い、その結果をもとに養殖漁業者に対し治療・対策方法及び水産用医薬品の適性使用等について指導を行った。

結 果

魚病発生及び調査指導状況の結果を表1に示した。なお、冷水病関係は別に冷水病対策研究に記述した。

県内の主要養殖魚種はマス類（ヤマメ）であるが、12月に県内のマス類養殖漁業者を集めて、魚病等の講習会を実施、また各養鱒現場の飼育状況を巡回し、防疫や飼育方法等について指導、情報交換を行った。

ヤマメは8月6日に白点病の発生を確認したが、夏期の温水時であったため換水率を高める等の有効的な対策がとれず稚魚から成魚まで大きな被害があった。冬期の2月18日にも1経営体で白点虫の発生を確認したが、被害を受けたのはアトキンス式ふ化槽で飼育中の稚魚であった。過密飼育、低換水率など飼育条件が悪かったためと思われる。1月23日に初めて養殖に取り組んだ経営体でふ化仔魚の調子が悪いとため検査を行った。累積のへい死率が高かったが、病原体等は確認されず原因不明であった。

その他発生した魚病としてはアユのビブリオ病とコイのカラムナリス病であったが、投薬の効果により被害を最小限に押さえることが出来た。

6月12日に県内の希少魚であるゴギの増殖を計るため、種苗生産、養殖に取り組んでいる広島県に養殖状況の視察を行った。

表1 魚病発生及び調査指導状況

月日	魚種	場所	調査内容等	備考（対策・指導等）
4/24	アユ	三刀屋町	飼育種苗疾病検査	ビブリオ病
5/24	コイ	出雲市	飼育種苗へい死原因検査	カラムナリス病
5/25	ドジョウ	安来市	巡回指導	
6/6	ヤマメ	赤来町、吉田村	巡回指導	
6/7	アユ	三刀屋町	養殖魚へい死原因検査	ビブリオ病
6/12	ゴギ	広島県	養殖状況調査	先進地視察
6/12	ヤマメ	大東町	養殖魚へい死原因検査	輸送の不備によるへい死
6/18	コイ	出雲市	飼育種苗へい死原因検査	パイプ内のアク流入によるへい死
6/22	ヤマメ	石見町	巡回指導	
6/25	アユ	三刀屋町	養殖魚へい死原因検査	ビブリオ病
8/6	ヤマメ	赤来町	養殖魚へい死原因検査	白点虫
8/31	アユ	三刀屋町	巡回指導	
9/6	ドジョウ	安来市	巡回指導	
9/11	ヤマメ	匹見町、柿木村	巡回指導	
10/1	ヤマメ	赤来町、大東町	巡回指導	

月日	魚種	場所	調査内容等	備考（対策・指導等）
10/2	ヤマメ	頓原町	巡回指導	
10/10	ヤマメ	掛合町	巡回指導	
11/1	ヤマメ	頓原町	巡回指導	
11/20	スジエビ	赤来町	巡回指導	
12/3	ヤマメ	石見町	講習会	
12/10	ゴギ	匹見町	巡回指導	
1/11	ヤマメ	頓原町	巡回指導	
1/17	ドジョウ	安来市	巡回指導	
1/23	ヤマメ	頓原町	飼育種苗への死原因検査	不明
2/4	サケ	出雲市	巡回指導	
2/18	ヤマメ	邑智町	養殖魚への死原因検査	白点虫
3/15	ゴギ	匹見町	巡回指導	
3/25	ヤマメ	大東町、吉田村等	巡回指導	
3/26	ヤマメ	弥栄村	巡回指導	